

社会貢献事業として 不法投棄物の回収作業を実施

ACTIVE KUMIAI



回収した不法投棄物

山梨県重機・建設解体工事業協同組合（小田切昭理事長 組合員15社）では、組合の社会貢献事業の一環として不法投棄物の回収作業を6月23日に行った。当日は、14社の組合員企業より28名が参加し、笛吹市芦川町の県道と富士川町十谷の県道の2班に分かれて、不法投棄物の回収と周辺清掃を行った。

道路脇に捨てられたゴミには、ビン・缶・ペットボトルをはじめとして、掃除機・タイヤ・チャイルドシート・燃料タンクなど、本来は不燃物や粗大ゴミとして処分しなければならぬものまであり、3時間余りの作業で、富士川地区では2トンのコンテナ一杯に、芦川地区では2トンのコンテナ半分程度のゴミが回収された。

作業箇所には道路脇の急斜面もあるため滑落事故などが起きないように注意深く進められるとともに、組合員事業所からダンプカー・アームローラーなどが提供され効率よく作業が進められた。また、作業にあたっては作業場所や回収された廃棄物の処分方法について行政と打ち合わせを何度も行い、短時間で効果が上げられるよう入念な準備が進められた。

この事業は組合の社会貢献事業の一環として平成24年より始まり、これまで韮崎市・甲府市・都留市などで実施され、今年で3回目となる。

小田切理事長は、「当組合の組合員は建築物の解体を行う専門業者として、解体した廃棄物の処理を適正に行うとともに、解体作業を進める際には周辺住民の理解も必要不可欠であるとし、今後も組合員のコンプライアンスと社会貢献の意識の向上を図るために、この事業を継続していく。」と述べた。



側道添いの急斜面で作業